

I 平成 29 年度事業報告書(平成 29 年度事業報告の付属明細書)

公益財団法人瑞鳳殿は、仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯内伊達家墓所の保存整備並びに伊達家霊廟等に関する調査研究を行い、併せて、当該施設の鑑賞の機会を提供し、もって文化の向上に寄与することを目的としており、その目的を達成するため平成29年度において次の事業を行った。

I 事業報告

1 瑞鳳殿の施設公開

(1) 休館日 12月31日

(1月1日は瑞鳳殿のみ無料公開)

(2) 御霊屋の特別開帳と遠忌法要等

- ① 5月24日 初代藩主伊達政宗公遠忌法要、瑞鳳殿特別開帳
- ② 6月 4日 三代藩主伊達綱宗公遠忌法要、善応殿特別開帳
- ③ 7月12日 二代藩主伊達忠宗公遠忌法要、感仙殿特別開帳
- ④ 8月6～8日 仙台七夕期間、瑞鳳殿特別開帳
- ⑤ 8月15日 お盆、瑞鳳殿特別開帳
- ⑥ 1月 1日 元朝詣り、瑞鳳殿特別開帳
- ⑦ 1月 2日 新年拝礼式、瑞鳳殿特別開帳
- ⑧ 5月 9日 奉納の会、瑞鳳殿特別開帳

2 企画展の開催

(1) 春の企画展

「綱宗公の銅煙管」

平成29年4月22日(土)～平成29年6月11日(日)

(51日間 参考観覧者数:33, 418人)

(2) 秋の企画展

「政宗公の愛した文具 - 副葬品より」

平成29年10月20日(金)～平成29年12月28日(木)

(70日間 参考観覧者数:45, 276人)

(3) 春の企画展

「雑遊 ～ひいなあそび～」

平成30年2月28日(水)～平成30年5月6日(日)

(68日間 参考観覧者数:28, 762人)

3 各種イベント

(1) セタナイト

8月6日(日)、7日(月)、8日(火) 瑞鳳殿境内各所

- ① 伝統的な仙台セタ飾りの再現
- ② 竹灯籠と照明による境内ライトアップ
- ③ 森のコンサートの開催
- ④ セタパネル展示

3日間で7,484人の観覧者(うちセタナイトの観覧者は3,269人)

(最終日の8日は台風のため、森のコンサートは中止した)

(2) 秋のライトアップ

11月10日～12日、17～19日 毎金土日

- ① キャンドルと照明による参道ライトアップ
- ② 境内の紅葉ライトアップ

6日間で8,622人の観覧者

(うち秋のライトアップ観覧者は1,958人)

(3) その他

- ① 仙台青葉まつり出陣式(五葉山火縄銃鉄砲隊)
5月21日(日) 表参道～涅槃門前
- ② 瑞鳳殿秋の響き - 和太鼓 LIVE - (族 with Friends)
10月9日(月) 経ヶ峯西側広場特設ステージ
- ③ 秋の能楽(仙台能楽振興会)
10月15日(日) 経ヶ峯西側広場特設ステージ
- ④ 伝統的雛人形の展示(粹々まちなかプロジェクト)
2月28日(水)～3月6日(火) 7日間

4 政宗公生誕450年記念事業

(1) 政宗公生誕450年記念講演(政宗歴史塾)

【伊達政宗の「食」と「もてなし」】

8月3日(木) 13時30分～15時30分 江陽グランドホテル 参加者159名

講師 佐藤 敏悦 氏(東北民俗の会会長)

伊達 泰宗 氏(伊達家18代 当主)

(2) 瑞鳳殿特別開帳

開帳期間 7月21日(金)～8月31日(木)

(3) 記念御集印の販売

販売期間 7月21日(金)～8月13日(日) 1,900枚

(4) 装飾品入替

瑞鳳殿本殿内の厨子装飾品入替(鍛子・仏具等)

5 広報事業

- (1) 瑞鳳殿広報誌「経ヶ峯の四季第13号」の発行
- (2) 瑞鳳殿ホームページの運用
- (3) イベントポスター・チラシの作成
- (4) 観光情報誌等への情報掲出
- (5) ドローンによる広報用撮影
- (6) サイネージによる広報(地下鉄東西線 国際センター駅)

6 瑞鳳殿施設の解説・案内

- (1) Uni-Voice による多言語ガイドシステムの運用
- (2) 瑞鳳殿ボランティアガイドによる解説・案内
- (3) 多言語リーフレットの配布

7 学校・観光事業者等に対する支援

- (1) 校外学習受入れ 227校 3,292名
- (2) 出前講座の講師派遣 3件 (ガイドの会30名、町内会20名、市民センター50名)
- (3) 政宗公生誕450年記念 SMMA 主催による「SMMA 見験楽学ツアー」参加者24名
各施設を1日かけて廻る学芸員リレートーク付きミュージアム周遊バスツアー
- (4) 瑞鳳殿プレゼンテーション 3件 33名

8 資料の貸し出し

出陳資料 熊谷家旧蔵鞘塗見本(一式)

展示会名 「URUSHI ふしぎ物語 一人と漆の12000年史」

主催 : 国立歴史民俗博物館

会場 : 国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市城内町117)

展示期間 平成29年7月11日(火)～平成29年9月3日(日)

仙台藩の御職人で代々「塗師」を家業としていた熊谷家(熊谷幸七氏)より、昭和63年に寄贈されたもの

9 奉納・協賛

- (1) 地元企業による地場産品奉納 5月9日(火) 48社奉納
奉納された工芸品は5月22日(月)まで2週間、資料館前室にて展示
- (2) 第33回仙台青葉まつり 5月21(土)、22日(日)
- (3) 第20回仙台青葉能 5月14日(日)
- (4) 宮城県酒造組合新酒奉納 2月27日(火) 10社奉納

10 防災・環境衛生活動

- (1) 消防訓練 2月22日(木)
- (2) 瑞鳳殿すすはらい 12月15日(金)

11 施設等の老朽・安全対策

- (1) 管理棟のトイレ改修
- (2) 境内の石畳補修及び表参道苔洗浄
- (3) 東屋の床修繕
- (4) 事務所内照明器具 LED に交換
- (5) 生垣側通路の拡幅
- (6) 門扉塗裝修繕

12 その他・サービス

- (1) 売店(お土産、政宗公関連グッズ、オリジナル商品の販売等)
- (2) 駐車場の管理運営
駐車場、コインロッカー(観覧者無料)
 - ・第1駐車場 収容台数30台
 - ・第2駐車場 収容台数18台
- (3) Wi-Fi 設置による運用(境内内フリー)

13 関係団体との情報交換

- (1) 向山経ヶ峯親交会、霊屋下町内会及び参道下三店舗との打合せ 4月21日(金)
- (2) 瑞鳳殿ガイドの会との意見交換会 5月8日(月)

14 職員研修

- (1) 公益法人会計研修 4月21日(金)、6月7日(水)、9月22日(金)
- (2) 瑞鳳殿ガイドの会移動研修会(水沢) 10月5日(木)
- (3) 仙台市外郭団体等によるクレーム対応研修 10月31日(火)
- (4) デジタルアーカイブ主催による文化財情報資料部等の研修 2月5日(月)～6日(火)
- (5) 第65回全国博物館大会(京都)3月8日(木)～9日(金)

II 観覧者数の動向(3ヵ年・対前年度増減比)

・平成27年度 194,008 人(13.1%増)

大人 : 180,790人、高校生 : 2,526人、小中学生 : 10,692人

・平成28年度 198,886 人(2.5%増)

大人 : 184,164人、高校生 : 2,670人、小中学生 : 12,052人

・平成29年度 234,695人 (18%増)

大人 : 217,893人 、 高校生 : 3,488人 、 小中学生 : 13,314人

Ⅲ 庶務報告

(1) 理事会に関する事項

- ① 第1回理事会 平成29年5月29日(月) 会場 江陽グランドホテル
議案 ・評議員会の招集に関する件
・平成28年度事業報告及び決算に関する件
- ② 第2回理事会(定款第37条に基づく決議の省略) 平成29年6月13日(火)
議案 ・副理事長の選定に関する件
- ③ 第3回理事会 平成30年3月27日(火) 会場 江陽グランドホテル
議案 ・副会長選任に関する件
・常勤役員の報酬年額の決定に関する件
・平成30年度事業計画に関する件
・平成30年度収支予算に関する件

(2) 評議員会に関する事項

- 平成29年度定時評議員会 平成29年6月13日(火) 会場 江陽グランドホテル
- 議案 ・評議員の選任に関する件
・役員を選任に関する件
・定款の変更に関する件
・平成28年度決算に関する件

(3) 役員及び評議員並びに職員に関する事項(平成30年3月31日現在)

- ① 役員
理事9名 監事2名
- ② 評議員
9名
- ③ 職員
事務局長(副理事長兼務)、次長、一般職員5名、嘱託職員3名、臨時職員7名

(4) 届出に関する事項

届出年月日	件名	届出先
平成29年 6月28日	平成28年度事業報告等の提出	宮城県知事
平成29年 6月28日	変更届出(定款)	宮城県知事
平成29年 7月10日	変更届出(役員変更名簿等)	宮城県知事
平成29年12月 6日	変更届出 公益目的事業として実施している講座 等について、事業内容や実施形態が変 わっているため実態に合わせ変更	宮城県知事
平成30年 3月30日	平成30年度事業計画書等の提出	宮城県知事

II 貸借対照表 平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	49,835,183	20,215,968	29,619,215
未収金	265,214	2,069,003	△ 1,803,789
前払金	7,200	0	7,200
流動資産合計	50,107,597	22,284,971	27,822,626
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建 物	742,137,165	732,494,659	9,642,506
構 築 物	9,964,523	10,461,085	△ 496,562
霊廟関係資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	134,241,112	143,387,056	△ 9,145,944
基本財産合計	888,342,800	888,342,800	0
(2) 特定資産			
霊廟整備積立資産	128,158,000	128,158,000	0
減価償却引当資産	43,291,589	40,148,441	3,143,148
資料購入積立資産	21,500,000	21,500,000	0
退職給付引当資産	22,745,079	21,040,804	1,704,275
特定資産合計	215,694,668	210,847,245	4,847,423
(3) その他固定資産			
建 物	804,755	931,688	△ 126,933
構 築 物	15,330,161	17,625,990	△ 2,295,829
霊廟関係資産	17,120	34,234	△ 17,114
車両運搬具	1	1	0
什器備品	2,320,036	3,027,408	△ 707,372
その他固定資産合計	18,472,073	21,619,321	△ 3,147,248
固定資産合計	1,122,509,541	1,120,809,366	1,700,175
資産合計	1,172,617,138	1,143,094,337	29,522,801
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,776,727	2,232,187	6,544,540
預り金	686,725	223,629	463,096
賞与引当金	2,357,000	2,321,615	35,385
流動負債合計	11,820,452	4,777,431	7,043,021
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,745,079	21,040,804	1,704,275
固定負債合計	22,745,079	21,040,804	1,704,275
負債合計	34,565,531	25,818,235	8,747,296
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産合計	782,556,000	782,556,000	0
(うち基本財産への充当額))	(782,556,000)	(782,556,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額))	355,495,607	334,720,102	20,775,505
(うち特定資産への充当額))	(105,786,800)	(105,786,800)	(0)
(うち特定資産への充当額))	(215,694,668)	(210,847,245)	(4,847,423)
正味財産合計	1,138,051,607	1,117,276,102	20,775,505
負債及び正味財産合計	1,172,617,138	1,143,094,337	29,522,801

Ⅲ 正味財産増減計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	265,130	272,410	△ 7,280
基本財産受取利息	265,130	272,410	△ 7,280
事業収益	115,221,291	96,477,788	18,743,503
観覧料収益	113,062,611	95,742,683	17,319,928
刊行物販売収益	2,158,680	735,105	1,423,575
受取補助金等	0	968,000	△ 968,000
受取補助金	0	968,000	△ 968,000
受取寄付金	40,000	0	40,000
受取寄付金	40,000	0	40,000
雑収益	5,391,587	5,183,479	208,108
受取利息	188,410	202,979	△ 14,569
雑収益	5,203,177	4,980,500	222,677
経常収益計	120,918,008	102,901,677	18,016,331
(2) 経常費用			
① 事業費	94,564,139	124,462,093	△ 29,897,954
役員報酬	2,773,478	3,568,026	△ 794,548
給料手当	34,484,527	34,683,785	△ 199,258
臨時雇賃金	10,183,867	11,293,547	△ 1,109,680
賞与引当金繰入額	2,286,750	2,251,365	35,385
退職給付費用	1,194,000	1,820,000	△ 626,000
福利厚生費	6,566,093	6,236,817	329,276
会議費	5,280	4,500	780
交際費	180,944	147,760	33,184
旅費交通費	289,816	606,696	△ 316,880
通信運搬費	358,232	337,051	21,181
減価償却費	6,305,802	5,823,430	482,372
消耗什器備品	1,602,850	3,419,442	△ 1,816,592
消耗品費	2,316,023	2,165,738	150,285
修繕費	6,769,507	34,516,543	△ 27,747,036
印刷製本費	1,779,997	2,104,158	△ 324,161
賃借料	1,895,121	1,454,935	440,186
広告料	1,118,838	1,191,582	△ 72,744
保険料	651,765	652,793	△ 1,028
支払手数料	166,389	159,017	7,372
諸謝金	669,274	629,274	40,000
租税公課	6,217,230	3,389,600	2,827,630
支払負担金	882,071	1,205,269	△ 323,198
委託費	4,891,298	5,829,719	△ 938,421
光熱水料費	718,177	740,747	△ 22,570
燃料費	30,975	27,359	3,616
雑費	225,835	202,940	22,895

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	5,574,264	4,945,042	629,222
役員報酬	1,002,442	1,065,774	△ 63,332
給料手当	1,529,440	1,312,288	217,152
賞与引当金繰入額	70,250	70,250	0
退職給付費用	510,275	180,000	330,275
福利厚生費	328,108	330,944	△ 2,836
会議費	204,834	185,060	19,774
交際費	20,450	5,200	15,250
旅費交通費	41,834	77,324	△ 35,490
通信運搬費	70,422	71,221	△ 799
減価償却費	368,986	223,430	145,556
消耗品費	8,160	8,165	△ 5
修繕費	822	322	500
印刷製本費	1,749	583	1,166
保険料	14,840	14,992	△ 152
支払負担金	8,245	9,265	△ 1,020
光熱水料費	1,077,258	1,111,119	△ 33,861
燃料費	311,575	276,628	34,947
雑費	4,574	2,477	2,097
經常費用計	100,138,403	129,407,135	△ 29,268,732
当期經常増減額	20,779,605	△ 26,505,458	47,285,063
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	4,100	1	4,099
構築物除却損	1	0	1
什器備品除却損	4,099	1	4,098
經常外費用計	4,100	1	4,099
当期經常外増減額	△ 4,100	△ 1	△ 4,099
当期一般正味財産増減額	20,775,505	△ 26,505,459	47,280,964
一般正味財産期首残高	334,720,102	361,225,561	△ 26,505,459
一般正味財産期末残高	355,495,607	334,720,102	20,775,505
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産期末残高	782,556,000	782,556,000	0
III 正味財産期末残高	1,138,051,607	1,117,276,102	20,775,505

IV 正味財産増減書内訳表 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	265,130		265,130
基本財産受取利息	265,130		265,130
事業収益	109,221,291	6,000,000	115,221,291
観覧料収益	107,062,611	6,000,000	113,062,611
刊行物販売収益	2,158,680		2,158,680
受取寄付金	40,000		40,000
受取寄附金	40,000		40,000
雑収益	5,391,587		5,391,587
受取利息	188,410		188,410
雑収益	5,203,177		5,203,177
経常収益計	114,918,008	6,000,000	120,918,008
(2)経常費用			
①事業費	94,564,139		94,564,139
役員報酬	2,773,478		2,773,478
給料手当	34,484,527		34,484,527
臨時雇賃金	10,183,867		10,183,867
賞与引当金繰入額	2,286,750		2,286,750
退職給付費用	1,194,000		1,194,000
福利厚生費	6,566,093		6,566,093
会議費	5,280		5,280
交際費	180,944		180,944
旅費交通費	289,816		289,816
通信運搬費	358,232		358,232
減価償却費	6,305,802		6,305,802
消耗什器備品	1,602,850		1,602,850
消耗品費	2,316,023		2,316,023
修繕費	6,769,507		6,769,507
印刷製本費	1,779,997		1,779,997
賃借料	1,895,121		1,895,121
広告料	1,118,838		1,118,838
保険料	651,765		651,765
支払手数料	166,389		166,389
諸謝金	669,274		669,274
租税公課	6,217,230		6,217,230
支払負担金	882,071		882,071
委託費	4,891,298		4,891,298
光熱水料費	718,177		718,177
燃料費	30,975		30,975
雑費	225,835		225,835

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
②管理費		5,574,264	5,574,264
役員報酬		1,002,442	1,002,442
給料手当		1,529,440	1,529,440
賞与引当金繰入額		70,250	70,250
退職給付費用		510,275	510,275
福利厚生費		328,108	328,108
会議費		204,834	204,834
交際費		20,450	20,450
旅費交通費		41,834	41,834
通信運搬費		70,422	70,422
減価償却費		368,986	368,986
消耗品費		8,160	8,160
修繕費		822	822
印刷製本費		1,749	1,749
保険料		14,840	14,840
支払負担金		8,245	8,245
光熱水料費		1,077,258	1,077,258
燃料費		311,575	311,575
雑費		4,574	4,574
経常費用計	94,564,139	5,574,264	100,138,403
当期経常増減額	20,353,869	425,736	20,779,605
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	4,100	0	4,100
構築物除却損	1	0	1
什器備品除却損	4,099	0	4,099
経常外費用計	4,100	0	4,100
当期経常外増減額	△ 4,100	0	△ 4,100
当期一般正味財産増減額	20,349,769	425,736	20,775,505
一般正味財産期首残高			334,720,102
一般正味財産期末残高			355,495,607
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			782,556,000
指定正味財産期末残高			782,556,000
III 正味財産期末残高			1,138,051,607

V 財務諸表に対する注記(貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書)

1 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)を採用している。

② 固定資産の減価償却について

有形固定資産 定額法による減価償却を実施している。ただし会計規程第38条に基づき文化的価値を有する建物等については、減価償却は行っていない。

③ 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している。
賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込み額のうち当該事業年度に対応する見込額をを計上している。

④ 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建 物	732,494,659	12,677,584	3,035,078	742,137,165
構 築 物	10,461,085	0	496,562	9,964,523
霊 廟 関 係 資 産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	143,387,056	3,531,640	12,677,584	134,241,112
小 計	888,342,800	16,209,224	16,209,224	888,342,800
特定資産				
霊廟整備積立資産	128,158,000	0	0	128,158,000
減価償却引当資産	40,148,441	3,143,148	0	43,291,589
資料購入積立資産	21,500,000	0	0	21,500,000
退職給付引当資産	21,040,804	1,704,275	0	22,745,079
小 計	210,847,245	4,847,423	0	215,694,668
合 計	1,099,190,045	21,056,647	16,209,224	1,104,037,468

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建 物	742,137,165	(702,637,165)	(39,500,000)	0
構 築 物	9,964,523	0	(9,964,523)	0
霊 廟 関 係 資 産	2,000,000	0	(2,000,000)	0
減価償却引当資産	134,241,112	(79,918,835)	(54,322,277)	0
小 計	888,342,800	(782,556,000)	(105,786,800)	0
特定資産				
霊廟整備積立資産	128,158,000	0	(128,158,000)	0
減価償却引当資産	43,291,589	0	(43,291,589)	0
資料購入積立資産	21,500,000	0	(21,500,000)	0
退職給付引当資産	22,745,079	0	(22,745,079)	(22,745,079)
小 計	215,694,668	0	(215,694,668)	(22,745,079)
合 計	1,104,037,468	(782,556,000)	(321,481,468)	(22,745,079)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	24,443,550	23,638,795	804,755
構 築 物	69,089,213	53,759,052	15,330,161
霊 廟 関 係 資 産	66,586,470	66,569,350	17,120
車 両 運 搬 具	1,737,490	1,737,489	1
什 器 備 品	16,710,526	14,390,490	2,320,036
合 計	178,567,249	160,095,176	18,472,073

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位:円

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
仙台市市債平成25年度第1回公募公債	50,000,000	50,095,000	95,000
仙台市市債平成26年度第1回公募公債	13,000,000	13,022,100	22,100
仙台市市債平成29年度第2回公募公債	140,000,000	140,000,000	0
合 計	203,000,000	203,117,100	117,100

6 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	2,321,615	2,357,000	2,321,615	2,357,000
退職給付引当金	21,040,804	1,704,275	0	22,745,079

VI 財産目録

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

単位:円


貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	つり銭準備金、3/30、3/31観覧料売上	910,250
預金	普通預金		
	七十七銀行仙台市役所支店	運転資金として	46,632,136
	三井住友銀行仙台支店	運転資金として	2,292,797
未収金	JTB等旅行代理店他	観覧料売上クーポン	265,214
前払金	(公財)仙台市市民文化事業団	政宗歴史塾会場費として	7,200
流動資産合計			50,107,597
(固定資産)			
基本財産			
建物	瑞鳳殿、感仙殿、善応殿、仙台市青葉区霊屋	不可欠特定財産として公益目的に供している	742,137,165
霊廟関係資産	展示品	不可欠特定財産として公益目的に供している	2,000,000
構築物	殉死者墓石等	不可欠特定財産として公益目的に供している	9,964,523
減価償却引当資産	仙台市市債平成25年度他普通預金	満期保有目的で保有し、公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源としている。	123,000,000
	七十七銀行仙台市役所支店		11,241,112
特定資産			
霊廟整備積立資産	仙台市市債平成29年度第2回普通預金	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業に供している	60,000,000
	定期預金	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	50,000,000
	定期預金	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	18,158,000
減価償却引当資産	定期預金	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	40,148,441
	普通預金		3,143,148
資料購入積立資産	仙台市市債平成29年度第2回定期預金	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源に供している	20,000,000
	定期預金	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	1,500,000
退職給付引当資産	定期預金	職員退職給付引当金に対応する資産として管理している	21,040,804
	普通預金		1,704,275
その他固定資産			
建物	玉垣、銅製大香炉舎等	公益目的事業	804,755
構築物	駐車場管理棟等	公益目的事業	15,330,161
霊廟関係資産	伊達政宗坐像縮小模型等	主として公益目的事業	17,120
車両運搬具	公用車	主として公益目的事業	1
什器備品	銅製大花瓶、提灯掛等	公益目的事業	2,320,036
固定資産合計			1,122,509,541
資産合計			1,172,617,138
(流動負債)			
未払金	仙台市中税務署他	消費税、法人税等	4,527,000
	日本年金機構仙台北年金事務所	社会保険2、3月分	869,262
	株式会社鈴木弘人設計事務所他	公益目的事業 委託費等	3,380,465
預り金	職員	社会保険料、住民税	686,725
賞与引当金	職員	職員の賞与支給に備えたもの	2,357,000
流動負債合計			11,820,452
(固定負債)			
退職給付引当金	職員	公益目的事業退職給支給に備えたもの	22,745,079
固定負債合計			22,745,079
負債合計			34,565,531
正味財産			1,138,051,607

監査報告書

平成30年5月15日

公益財団法人 瑞鳳殿
理事長 伊藤 敬幹 様

公益財団法人 瑞鳳殿

監事 澤野 博文 

監事 今野 薫 

私達は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度、公益財団法人瑞鳳殿の事業及び会計の監査を行いました。その結果を次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。